

よみもの

ニセ刑事ご用心

二セ刑事やニセ監督は「ラジオばかりと思つていいだら、日本にも相当な居る。福岡県の高校学生三年A君がニセ刑事でやられた話。A君は去る三月上旬東京明治大学を受験し続いて同志社大学を受験終ったに至り京都へやつて来た。明日試験が終った時間表を見上げていた午後四時頃突然A君(18)のそばに寄ってきた二十四歳位の男、流行のキャラコールグレーの背広を着てゐる。七條署の小林刑事だが、学生の方引事件を調べているので、ちよと来てくれ」とその内木ケトから警察子帳らしのものを取り出しつてチラリと見せた。A君は素直に従つた。男は駅構内の公衆電話から検査三課ですが、小林刑事一すじ上故に大声でしゃべる。彼は駅前の中央ユビン苟の横手のタバコ屋の赤電話から又電話して手は府警察本部・二回ともてたらめにスイベルを回した一人芝居だったが、A君を信じこませるには十分だった。A君二千三百円入の財布の外に、月心のため胸巻に入れておいた三千円まで出た。

「父の日」は来る八月十四日はお父さんに感謝の意を表してお忘れなく
父の日のプレゼントを差上げましょ
ガジミーランドリンゴとプリン
ピジャマ用トリコリーネ
浴場用洗顔用トアーリヤ
箱入りのレンソ
毛布

二セ刑事捕縛ご方

二セ刑事は七條署管内で立てつけに同じ手口で五件犯行。小林刑事といふホンセ科者、職金斗全(23)に目をつけた。金の裏を被害者に見せると間違いないことがわかった。犯人の人相着衣、外人登録証を上げた。犯人がひとかきとニセ刑事、数日前の京都駅へやつて来たところを張込みの七條署の本物の刑事装に、すぐ辨別となつた。服装はいつものキャラコールグレーの背広というのんきなものだった。(週刊朝日)

して見せた。男は有り金全部取上げてばかりを叫んで「いい残し姿を消さない、まだされないと知て血まなこになつてしまふ」だまされたと知て血まなこになつてしまふがしたダメだつた。

七條署に被訴を受けに来たA君の意気消沈ぶりははたで見るのも氣の毒なういムスコを大学にやこうと炭坑放師と一緒に働くA君の父、家計を節約して金をくねこ母、それに明日は大卒の入学試験。A君は眞青云

CASAS PERNAMBUCANAS

14 de agosto, DIA DO PAPAI

LEMBRE-SE E OFEREÇA UM PRESENTE DAS

CASAS PERNAMBUCANAS

其の他のフレゼンテ用品
何れも格安提供



